

# 【第5次津島市総合計画】施策評価シート(2025年度)

施策コード	34
-------	----

まちづくりの方針	3 産業・環境・市民生活
施策	4 環境保全
施策のめざす姿	持続可能で快適なまち(自然共生、循環、低炭素、安全安心)の実現に向けた取組が行われるとともに、これらの取組を支える人づくりや連携・協働のあり方が構築されています。

まちづくり指標	現状値 (2019年度)	実績値					目標値	
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2025年度	2030年度
市区域におけるCO <sub>2</sub> 排出量(千t-CO <sub>2</sub> )【生活環境課】	370	341	329	算定中	算定中		344	311
市民1人1日当たりのごみ排出量(g)【生活環境課】	743	747	750	740	705		729	704
資源化率(%)【生活環境課】	14.0	15.1	15.4	14.8	15.3		19.1	21.6

施策の方針	担当課	実績・成果
		今後の方向
1 身近な水と緑の保全・創出	生活環境課	生物多様性の保全の取組として、クビアカツヤカミキリ、オオキンケイギク等の身近な特定外来生物に対する対応について啓発を行いました。 生物多様性の保全に関する啓発を行います。また、生物多様性地域戦略の改定を進めており、施策の方向性や進め方について見直しを行います。
2 資源循環型社会の形成【重点】	生活環境課	食品ロスの削減を目的とした専用WEBサービス「タベスケ」を運用した。 ごみ出しマナーや分別方法の周知啓発により、資源化促進に努めます。
3 地球温暖化の緩和策と適応策の推進【重点】	生活環境課	熱中症特別警戒アラートが発表された際に開設されるクーリングシェルターとして、公共施設(11施設)・民間施設(8施設)を指定するとともに、外出時の暑さをしのぐ休憩場所として開設しました。また、産業部門及び事業部門からの温室効果ガスの排出量の削減のため、中小企業向け省エネセミナーを実施しました。 熱中症対策その他の気候変動適応に関する施策の調整を図るとともに、地球温暖化を緩和するため、再生可能エネルギーの利用促進と、エネルギーの合理的な利用に資する蓄電池の設置に対する補助金を継続してまいります。
4 魅力ある生活環境の創造	生活環境課	地域のインフラである斎場や公衆トイレの機能維持を図るとともに、市民との協働により地域環境の保全に努めました。 令和6・7年度には、次期環境基本計画の策定に向けた事務を進めます。

総括評価	施策のめざす姿の達成状況	気候変動影響に適応するため、熱中症特別警戒アラートの発表時等に利用できるクーリングシェルターの指定に努めたほか、次期環境基本計画の策定に向けて事務を進めています。また、温室効果ガスの削減に向けた省エネセミナーの開催等を始め、地域の環境の保全に関する取組を各分野で進めました。全体として施策の目指す将来の姿の実現に向けて進んでいます。	評価
	施策のめざす姿の達成に向けて今後必要なこと	市の財政状況や社会情勢を鑑みながら、持続可能で快適なまちの実現に向けて取組を進めていきます。特に地球温暖化対策が喫緊の課題とされており、地球温暖化の緩和策と適応策について、市民・事業者・行政がそれぞれの立場において果たすべき役割を認識し、連携して取り組んでいくことが不可欠です。市においては、引き続き、具体的な対策を提示しながら、施策の推進に努めてまいります。	方針 継続